

YOKOHAMAにカジノはイライナイ！



左上から福島みずほ参院議員、系数慶子講師、
はたの君江衆院議員、阿部ともこ衆院議員

市民説明会で意見を述べよう！

九月十四日(土)、神奈川県民センターにおいて、超党派の国会議員(呼びかけ人:福島みずほ参院議員、阿部ともこ衆院議員、早稲田ゆき衆院議員、はたの君江衆院議員、牧山ひろえ参院議員、森ゆうこ参院議員、木村英子参院議員)による「横浜にカジノはいらない、女性たちよ手をつなごう」の集会在開かれた。司会は福島みずほ参院議員。

講演で系数慶子前参院議員は、「カジノは私たちの暮らしに何をもたらすのか」というテーマで講演、「カジノ問題を考える女たちの会」等で韓国、マカオ、ラスベガス、シンガポール、モナコなど視察した

経験から問題点をあげギャンブル依存症患者の増加、町の風紀や治安の悪化、青少年の健全・育成への悪影響など「豊かな自然、文化、芸能など多くの観光資源に恵まれた沖縄にカジノはイライナイと確信した。カジノは賭博でありバクチ、絶対にヨコハマにカジノを誘致してはいけない」と警鐘を鳴らした。また、沖縄では二〇一三年十二月に元仲井眞沖縄県知事が辺野古新基地建設を受け入れる条件として沖縄本島北部地域振興策のひとつとしてカジノ建設を受け入れるとしていたが、二〇一四年翁長雄志長雄志前知事が選挙公約としてカジノ反対を公約にあげ、元仲井



講演する系数慶子講師



壇上に上がり決意表明をした県・市会議員、左は司会の福島みずほ参院議員



県・市会議員が 反対の決意表明

眞沖縄県知事を破り当選、沖縄県によるカジノ導入が白紙化になった歴史がある。市民運動の盛り上がりでカジノは白紙化できる」と断言した。会場からは「カジノは白紙と言った選挙公約を破った林文子市長にはもう

しかない」「横浜にカジノはイラナイ」など声が上がっていた。このあと超党派の県・市会議員が壇上に上がり、それぞれカジノを誘致させないための決意表明を行った。参加者は三六〇名。
▼社民党横浜市連合は、九月十二日付けで横浜市に対し「カジノ誘致撤回を求める要請書」を提出し回答を迫っている。



左から福島みずほ参院議員、系数慶子講師、阿部ともこ衆院議員

